

活動名：あづま U-12 ガールズフットサルフェスティバル2014

日程：平成26年2月15（土）～16（日）

会場：あづま総合体育館

参加：Gクラス10名

帯同：安藤・小松コーチ

結果：豪雪のため両日交流戦に変更 9チーム参加

対戦相手：15日のみ

△ダイナ WEST ●ダイナ EAST ○Craque Jr ●中央ブロッカールズ

○エステレーラ相馬 ○あづまGスクール ●ビバーチェ会津

○水石FC

感想：設楽コーチ

毎年、唯一の女の子だけの大会としてフットサル大会が開催され、参加していますが、ガールズクラスの選手たちは、この日のために今まで練習してきました。

さて、気候というと土曜日の夜中から雪が振り、先週と同様と思われた足下の悪い中、保護者の方々は子ども達を乗せて遠方のあづま総合体育館に集合しました。

今回は、女子の大会なのでGクラスの練習を担当としている安藤コーチが指揮をとり、その成果を確認するような大会でした。

さらに遠方の新潟県や仙台市のチームは、思っていたより酷い今回の豪雪で、交通網は麻痺し、会場に来ることができずUターンして帰宅するような中、何とか集まったチームだけで当初の組み合わせを急遽変更して、全チームのリーグ戦になりました。

3大会を3チームに分けて6年生は出場してきましたが、今回は最後となる大会だったので、メンバー構成は6年生を中心として組まれました。

いつものように相手をチェックし、すかさずボールを奪うと果敢にシュートを打つプレーは素晴らしいものでした。しかし、ポゼッションが多く自分たちの思うようにゲームを運ぶことができていたのですが、キック力や正確なパス、ゴール枠をねらうシュートなどがうまく出来ず、なかなかシュートをしても得点につながらず、勝利できる試合も敗戦してしまう場面もありましたが、敗戦は1点差の惜敗でした。中央ブロッカールズさんは仙台のチームでしたが、圧倒的な強さで、ガールズのメンバーも歯が立たないような試合でした。

参加した10名は多く試合を経験することができ、みんな頑張っていました。初得点を決める選手もいて、今までの練習成果をしっかりと感じ、サッカーの楽しさをさらに深めることができたと思います。

夕方になると大雪が心配となり、途中で終了しました。また、急遽、あづま体育館の宿泊施設に泊まる保護者や今から帰る保護者に分かれて解散しました。

帰宅する保護者の車両は、体育館の駐車場から出ることも大変でした。途中でスタックしながらも進みましたが結局、国道4号線のみ郡山へ向かうルートがなく、渋滞の中、郡山へ向かいました。夜中や朝方に到着する方や途中で動かなくなり日曜日の夜から月曜日

の朝ごろに帰宅するような酷い交通災害に巻き込まれた保護者もいました。

結局、帰られた保護者は次の日は参加することができなくなりとても残念でした。

日曜日の二日目には、宿泊した選手のみが集合しました。また、他チームも会場に来ることができない方もいて、会津ビバーチェ、中央ブロック、Craque Jr、エステレーラ相馬、ダイナ&あづま G スクール合同チームの参加となり、午前中のみ交流戦を行い、安藤コーチが参加できなくなったことから、急遽、小松コーチが指揮をとり試合を行いました。

今回の大会は結果を決めることもできませんでしたが、二日間、何とか参加した選手たちには沢山の試合を経験させることができ、様々な地域で活動する女子チームとの貴重な交流の機会となりました。

6年生女子たちは最後の大会でしたが、気候的に豪雪となったこともあり一生忘れることのできない大会になったと思われます。

渋滞で夜遅く帰宅された保護者や二日間も車の中に閉じ込められてしまった保護者は、大変な状況となり、私たちもとても心配しましたが、時間はかかったものの、大きな事故もなく無事に帰宅され良かったです。なぜ渋滞したのか原因も不明だったので、長い時間交通状況を改善できない国交省には腹が立ちました。

保護者の方々のご協力により、大会には対象の G クラス選手全員が参加でき、感謝致します。アーレ唯一の10名の「なでしこ」たちは、この大会で様々な思い出を作りました。

来年の大会に向けて後輩の5年生以下6名は頑張ってくれることでしょう。また、今後は新しい仲間が増え、ガールズクラスが盛り上がっていただけるように期待したいですね。



